第11回国際紅白歌合戦報告書



イベント概要

《目的》日本人が外国語で歌い外国人が日本語で歌う、文化の相互理解を図るための新たな国際交流イベント。歌声を通じて新しい多文化共生のメッセージを世界に伝える

《日時》2023年11月19日 13:30-17:00

《場所》箕面文化交流センター 〒562-0001 大阪府箕面市箕面6丁目3-1

《後援》外務省 国際機関日本アセアンセンター 海外日系人協会 留学生支援コンソーシアム大阪

《協賛》 <u>㈱シティ・ハウジング</u> 株式会社ハンディネットワーク インターナショナル

パートナー企業・団体

一般社団法人ラジーン / 一般財団法人 日本国際協力センター(JICE)

/公益財団法人 大阪国際交流センター/ Music for SDG's Humming for PEACE

<u>私塾・山元学校 日本語ぷらっと LPK Bahana Inspirasi Muda (Indonesia)</u>

Cebu Music Learning Center(philippines) Brazilian Business Group" -ASIA (Japan-Brazil)

《主催》国際紅白歌合戦実行委員会

このイベントは、11月13日-20日、留学生と日本人の交流を深めようと始った日本初のイベント『留学生ウイーク』(主催:留学生支援コンソーシアム大阪)のフィナルイベントとして会場の大阪箕面文化交流センターとセブ、サンパウロをオンラインで結んで行われた。

イベント参加者数

参加者数約100名(大阪・箕面文化交流センター)

インドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾、マカオ、インド、アメリカ、イギリス、ドイツ、ブラジル、日本など大阪の会場、ONLINEでの出演者、ボランテイアなど含めると11の国や地域から参加者が集った。



司会は、来日32年の関西の人気TV・ラジオパーソナリティー・インド人元留学生のサニーフランシスさん。アシスタントは、学生ボランテイアを代表して、大阪大学外国語学部3年の井上真葉さんが務めた。オープニングは、国際紅白歌合戦in大阪の応援ソング、《Asian Gateway Osaka》で始まり、紅白で13名の参加者の熱唱が続いた。

その後も海外の人たちは、日本語で『マリーゴールド』『メロディー』『鬼滅の刃のテーマ』などを歌い、日本人の参加者は、タイ語、英語の歌を披露した。ゲスト歌手として箕面J-POP大使の北川たつやさんが出演。フィナーレで大阪観光局の溝畑理事長も留学生などと共に『WE ARE THE WORLD』を熱唱した。



特別出演として、大阪関西万博TEAMEXPO企画『100万人のラジオ体操』大坂城赤備隊(清掃ボランテイア団体)の演舞なども舞台を盛り上げた。





オンラインで、サンパウロ(ブラジル)とセブ(フィリピン)を結び、ゲスト歌手の動画が会場で流れ、その後、大阪と姉妹都市であるサンパウロの日系人カラオケ協会の審査委員長のエビハラ氏とZOOMで繋ぎ、現地のカラオケ文化が紹介された。その後は、2017-2018年のセブ開催をサポートしたCebu Music Learning Centerと繋ぎ、今後の協力についても紹介された。





今回は、インドネシアの選考会で選ばれた2名の医療関連大学に通う学生も、大阪開催に招待されたが、インドネシア人の留学生の1人のNAYAさんが、大阪観光局理事長賞に選ばれた。インドネシアの保健省にも、日本社会が医療人材を暖かく迎えいれる準備があるということが報告された。

国際紅白歌合戦のインドネシアでの選考会をサポートした、現地の春山代表(㈱HNI)によると、世界各国で介護や看護の人材獲得合戦は厳しさを増し、ドイツやサウジアラビアなとと比べると、円安で日本の魅力は相対的に落ちている。しかし、日本はしっかりとした受け入れ態勢、暖かく迎える雰囲気を作っていると訴えた。

今回も前回同様に、高校生、大学生のボランテイアが中心になって、イベントをサポートした。普段は大阪城・豊国神社で英語で観光案内をしている学生6名と日本経済大学のベトナムの留学生15名、大阪公立大の日本人4名も参加してくれたが、ボランテイアの合間に写真を撮ったり、言葉を掛け合ったりしながら、国際交流やイベントを協力して作っていく楽しさ、大変さを体験した。

日本経済大学のベトナム人留学生は、大学の先輩が歌唱で参加しており、そのことも大きな刺激になったと話してくれた。

大阪公立大の学生も国際交流のイベントを支える楽しさを体験して、来年はぜひ、ボランテイアの中心として活動したいと感想を述べてくれた。

通訳ボランテイアの6名の学生は、広報としてラジオ出演やこどもEXPOでの国際紅白歌合戦のPRなどもこなした。当日は司会のアシスタントをしたり、参加者の日本語・英語のインタビューも担当した。

来年、2024年は11月17日(日曜日)に箕面市のメイプルホール(500名収容)で開催予定。今後は、参加したメンバー、ボランテイアとも定期的に、オンラインでセブとサンパウロの関係者も交えて、親睦会を開く予定をしている。特にオンラインでのゲスト参加者と日本側の参加者、ボランテイアとの交流を深め、物理的な距離を縮める取り組みを進め、国際紅白歌合戦のコミュニティーを来年に向けてオンライン上で作って行く予定。

イベント取材及び掲載

事前PR

1:こどもEXPO ムックとおしゃべりですぞ~大阪・関西万博とSDGs

(提供 西尾レントオール社) イベント参加 10/28





2:FM神戸 KISSFM

3:箕面FM816 オンガクノススメ 11/3

VANDYのwhat's going onにてゲスト出演(11/12)

https://fm.minoh.net/program/onsusu/



第11回国際紅白歌合戦 質面文化交流センターで 11月19日開催 グローバルコミュニティー宮崎計実さん 大阪大学 井上真葉 (まよ) さん バンディ石田 11月12日Kiss-FM KOBE バンディーズ







800 =1-2 1

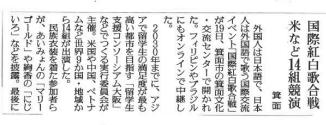




1:まちっと 北摂 2:ゆこゆこネット 3:biglobe旅行 4:GOOニュース 5:Walkers plus

他多数

1:新聞記事:読売新聞(11月20日掲載)& 読売オンライン



漢細会長 (中央) と「We a re the world」を合唱する 会員を行っている。 る出演者だち(質価市で)としている。 を合した。 を合いた。 (28) が盛を流

読売新聞 11月20日 朝刊 25面より

満畑宏・同コンソーシアム 会長が登壇し、出演者全員 を合唱。会場は拍手と声援 を合唱。会場は拍手と声援 に包まれた。 (窓)は「緊張したが、会場 が盛り上げてくれた。良い が盛り上げてくれた。良い が盛り上げてくれた。良い

◎讀賣新聞オンライン

国際紅白歌合戦 米など14組競演 箕面

2023/11/20 05:00

合この記事をスクラップする (7 (8) (3) (2)



外国人は日本語で、日本人は外国語で歌う国際交流イベント「国際紅白歌会戦」が19日、 箕面市の箕面文化・交流センターで開かれた。 フィリビンやブラジルにもオンラインで中継した。

2030年までに、アジアで留学生の満足度 が最も高い都市を目指す「留学生支援コンソー シアム大阪」などでつくる実行委員会が主催。 米国や中国、ベトナムなど世界9か国・地域か



民族衣装を着た参加者らが、あいみょんの「マリーゴールド」や総香の「にじいろ」などを披露。最後に溝畑宏・同コンソーシアム会長が登壇し、出演者全員と「We are the world」を合唱。会場は拍手と声援に

台湾出身で、大阪市西区のリヤン・チェンア イさん(28)は「緊張したが、会場が盛り上げてくれた。良い交流の機会になった」と 笑顔を見せた。

2: ABCラジオ サニーフランシスの マサララジオ(18-21時)にて番組内で紹介(11月19日)

イベント当日、MCをしたサニーフランシスさんが、 自分の番組内で、10分以上に渡って『国際紅白歌合戦』の様子を面白おかしく伝えてくれました。

https://abcradio.asahi.co.jp/masararadio/



3:ジモトトピックス JCOM



JCOM(大阪エリア)で

地域情報紹介番組『ジモトトピックス』にて11月25日から1週間、一日3度放映される

https://www2.myjcom.jp/special/jch/jimotopi/

箕面FM816 みのおNOW番組内にて紹介された。 11/27、11/28

https://now.minoh.net/

他多数のSNSで参加者や参加者の友人、知人が様々な言語でイベントの内容を紹介した。

例)

フィリピン人参加者作成の動画ダイジェスト https://www.youtube.com/watch?v=J8pDtE1DyB0 インドネシアの参加者の友人が作った動画ダイジェスト https://www.youtube.com/watch?v=eCUaSoNdDWE